

まなびあい 14

愛知県生涯学習推進センター情報誌



生涯学習情報満載！「学びネットあいち」
<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>



携帯電話（iモード）からも情報検索できます。
<http://www.manabi.pref.aichi.jp/i/>

編集・発行/愛知県生涯学習推進センター（愛知県教育委員会生涯学習課）

〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号（愛知県東大手庁舎2階） TEL 052-961-5333 FAX 052-961-0232



県内各地において、子ども交流・体験活動などを積極的に
行っている青年たちが、南知多郡美浜町に集結しました。
子どもたちに、人との出会いや自然の素晴らしさを知って
もらうために、3泊4日の夏合宿を企画・運営した、青年ス
タッフの熱い夏を特集します。

“キラリ★”輝く
笑顔、そして涙から学ぶ！



INDEX 【目次】

- 特集「“キラリ★”輝く 笑顔、そして涙から学ぶ！ ～青年スタッフたちの熱い夏～」・・・ 1
- 「学びネットあいち」体験レポート 3
- インタビュー「この人に聞く」 13
- 生涯学習支援ボランティアセンターだより ... 15
- ボランティアフォーラム【愛知大会】参加者募集のお知らせ 19
- 講座・講習会・イベント情報 4
- ネットワーク機関紹介 14
- 生涯学習推進センターだより ... 17

“キラリ★” 輝く 笑顔、そして涙から学ぶ！～青年スタッフの熱い夏～

県教育委員会では、8月11日（金）～14日（月）の4日間、愛知県美浜少年自然の家において、「であい ふれあい わちあい 夏合宿」を開催しました。これは、県教育委員会が実施する「愛知県地域活動推進スタッフ養成講座」を修了した青年たちが中心となって企画・運営したもので、県内の小・中・高校生50名が、美浜の自然を楽しみつつ、さまざまな年齢の人たちと交流することを目的とした合宿です。

今回は、夏合宿を無事に終えた青年スタッフの代表である早川さんに合宿を振り返っていただき、彼らの熱い夏に迫ります。人や自然との“出会いの素晴らしさ”を、ぜひみなさんも感じてください。



＜合宿の企画 ～子どもたちの笑顔を見たい！～＞

合宿を通じて、子どもたちに「異年齢の人との出会いの大切さ」と「自然の素晴らしさ」を感じて欲しいとの願いを込め、企画を行いました。“どのイベントで何を感じてほしいか”に重点をおき、それぞれの経験を生かした話し合いを何度も重ねました。

＜いざ、本番！～気持ちを一つに～＞

■第1日目 おっきな手とちっちゃな手が「こんにちは！」■

8月11日。子どもたちが美浜少年自然の家にやってきました。不安そうな顔の子もいます。子どもたちの緊張をほぐすために「ゲームでこんにちは」を行いました。ゲームを通して、初めて会った「ともだち」や「せんぱい」と交流していくうちに、緊張がほぐれ、子どもたちの表情がみるみるうちに緩やかに！“わちあい”の瞬間です。「合宿に来てよかった」との声も聞かれ、順調なスタートです。



△ ゲームでこんにちは

■第2日目 山の自然を満喫－団結することの楽しさを味わおう！■



△ 竹の食器づくり

朝から照りつける日差しの中、班にわかれて、美浜の山の自然に触れる「山遊び－Let's 山策」を行いました。自然の中の「面白いと感じたもの」などをデジカメで激写したり、落ち葉や木の実を拾って、班別に作品を作ったりしました。どの作品も子どもたちの個性がでて、太陽もびっくりするほどの歓声が響き渡っていました。

午後からは、食材をゲットするためのゲームや竹で食器を作った後、いよいよ野外炊飯「山の自然でレストラン」の始まりです。カレーライス、ゆで卵、フルーツポンチを班のみんなで協力して作りました。高校生に野菜の切り方を教えてもらったり、火を起こす青年スタッフの隣で一生懸命うちわで扇ぐ子もおり、一人一人の距離がさらにぐっと縮まりました。異年齢交流の楽しさを実感してもらえたかな。

■第3日目 海の広さ・大きさ、そして、親の愛の深さを感じてほしい！■

いよいよ、この合宿のメインイベント「エンジョイ!ビーチ」です。班に分かれて、E ボートで出航！風や波に流されて思うようにボートが進まない中、高校生や中学生が小学生を励まし、みんなで一致団結して一生懸命漕いでいた姿がとても印象的でした。「みんなが一緒だからがんばれるんだよ！」—うれしい一言でした。

夜はファイヤーのつどいで、班別にスタントを披露し、歌あり笑いありのほのぼのとした時間を過ごしました。最後の夜ということもあり、我々青年スタッフからサプライズ企画を用意しました。保護者の方に予め手紙を書いてもらい、子どもたちに自分だけのキャンドルの灯りでその手紙を読んでもらいました。輪から離れて何度も手紙を読み返す子、涙が止まらない子。△親からの手紙を読む子どもたち



「自分は大切にされているんだ！」—親の思いを一人一人が感じてくれたようです。

■第4日目 君が出会った「しん友」は、「新友」？「心友」？それとも「信友」？■

あっという間に4日間が過ぎ、別れの時がきました。寂しい気持ちはもちろんのこと、自分たちの思いは子どもたちにちゃんと通じたか、いろいろな思いが交錯します。しかし、内海駅での子どもたちの笑顔や涙を見て、「頑張ってよかった！」と実感しました。子どもたちの“キラリ★”と光る汗や涙、そして笑顔は、みんなの胸に響きました。この「しん友」との出会いを忘れずにいてほしいですね。



<最後に～子どもたちの笑顔、そして涙から、僕たちが学んだこと～>



今回の合宿を経験して、子どもたち同様、青年スタッフ自身も年齢や地域を超えた、様々な人との出会いと交流の大切さ、そして「人は人の中で生きていく」ということを改めて実感しました。

また、参加した子どもたちが、お互いに思いやり、助け合うなど、日々成長していく姿に感動しました。

自分たちの「しん友」である子どもたちに伝えたい！ **「ありがとう！」**

であい・ふれあい・わかちあい 冬合宿に参加しませんか？

餅つき・日本の伝統的な遊びやクリスマスパーティを通して、異世代交流を行います。

- 日時：12月23日（土）～25日（月） 2泊3日
- 場所：愛知県青年の家（岡崎市）
- 申込期間：10月31日（火）まで（ハガキで申込。応募者多数の場合は抽選）
- 定員及び対象：県内の小学4年～高校3年生50名程度及び65歳以上30名程度
- 申込み・問合せ：県教育委員会生涯学習課 052-954-6781（ダイヤルイン）
- 詳細：<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>





私らしく、始めよう！生涯学習

愛知県生涯学習情報システム「学びネットあいち」では、自分の学習目的に合わせて、講座などの情報を検索できる他、特に学習目的が決まっていなくても、自分の予定にあわせて講座情報を検索できる“イベントカレンダー”も充実しています。この“イベントカレンダー”を使って学びの世界に飛び込んでみました！



【 さあ、飛び込んでみよう！不思議なアートの世界 】

蝉の音が響き渡る 8 月上旬、イベントカレンダーで「カリヤファンタジー計画」を発見しました。カリカリ星人？空飛ぶねこトイレ？何やら怪しげな言葉に惹かれて、刈谷市美術館へ出かけてみました。

「カリヤファンタジー計画」は、刈谷市の依佐美送信所や動物型公衆トイレから広がる、美術家 松岡徹さんの世界観が至る所に散りばめられたユニークな企画展。少年が空飛ぶねこトイレを目撃したことから、謎の生命体カリカリ星人を調査する“博士”を中心に、映画的・漫画的に仕立た架空の物語から構成されています。

展示は、「博士の研究室」と博士の調査・研究の成果を発表する「カリカリ星人歴史資料室」から成り、謎の生命体カリカリ星人に関する研究資料や研究道具、さらに古い土偶、地底宮殿見取り図などが、細部まで徹底して作られていました。

体験できるコーナーもあり、展示室を進んでい



△身近な建物をとり入れ、空想をよりリアルに！

くうちに、自分が調査員になったような気がしてきました。

子どもだけでなく、大人をもファンタジーの世界に取り込んでしまう、不思議な企画展。身近な建物を取り入れ、観る人が知らないうちに自ら作品に入り込んでいくことで、絵画を鑑賞するのとは違ったアートの世界の面白さを体験することができました。



△カリカリ星人になれるコーナーも大人気！

<ワークショップで空想の世界へ！>

7 月 23 日（日）、小学生がカリファン計画の調査員の一人となって身近な不思議をカメラで撮り、写真を切り貼りして、自分だけの空想の世界を作りました。身近なものを使った不思議体験に、子どもたちは興味津々で大喜びでした。



△側溝から“不思議”を発見！？

様々な施設において、大人も子どもも楽しめるユニークな取組がたくさん行われています。みなさんも、新しい“発見”を求めて、訪れてみてはいかがでしょうか？

刈谷市美術館からのお知らせ

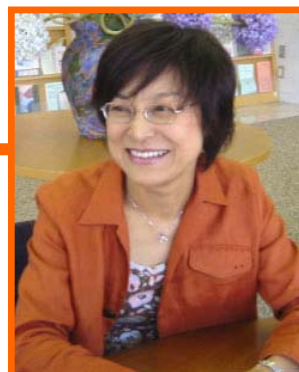
ありがとう！千ヨーさん 長新太展十ノヨ 「新聞ができるまで」から「ころころにゃーん」まで

現代を代表する絵本作家であり、漫画家である長新太。400 冊以上の絵本の中から代表作を含め、約 100 点の原画を展示するほか、漫画の初版本や遺品や蔵書などの資料等により、長新太の魅力とその人間像をご紹介します。開催は 11 月からです。ぜひ、ご覧下さい。

(詳細は⇒<http://www.city.kariya.lg.jp/museum/>)

この人に聞く！

“つながりたい” その気持ちから、始めましょう！



生涯学習に関する様々な活動をしてみえる方にお話を伺い、その方の信念や活動の源に迫ります。今回は、元気いっぱいの笑顔が印象的な、清水きよみさんにお話を伺いました。

ー お母さんたちが集う場「マザーズルーム」設立のきっかけについて教えてください。

清水さん（以下敬称略） カウンセリングの勉強を始めた時、自分と同じように子育てに悩むお母さんを見て、カウンセリングを子育ての場に生かしたいと思っていました。そんな時、佐世保の女子児童殺害事件を知り、親と子どもの間にある感覚的なズレが広がっていくような危機感を感じ、カウンセリングを取り入れながら「親が子どもとの関わり方を学ぶ必要性を伝えたい」と思い、設立しました。

始めは、私が一方的に話をしていたのですが、参加したお母さん同士のやりとりを見て、ふと“私が”伝える必要があるのかと思いました。信頼できる仲間と悩みを共感し合えることで、自分の気持ちを安心して話せる。私が一方的に指導しなくても、お互いに共感し合う気持ちから、自然に自分自身を振り返り“気づき”も生まれてくるのです。今は、お母さんたちが安心して話せる“井戸端会議”みたいなものになっています（笑）。

ー 安心して話せる場があることで、お母さん自身の気持ちの余裕も生まれるんですね。

清水 自分の悩みを分かってもらえる人がいるだけで、子どもとの接し方も変わってきます。どうしても精神的に余裕がないと、閉鎖的になり、内にこもってしまいがちですから。

ー 気持ちが閉鎖的になってしまった方を、地域でサポートする仕組みが必要ですね。

清水 そのとおりです。行政側で「子育て支援のネットワーク作り」が進められており、行政が個々の活動を面で結び、広く広報することで、より多くの方に活動を知ってもらえます。地域で連携することで、「つながろうよ」と差し出している手が、その手を必要としている方にも見えるようになるといいですね。

ー 「つながろうよ」という手を握り返してもらうためには、地道な努力が必要でしょうね。

清水 「つながらなくちゃ」ではなく、「つながりたい」という思いで、人はつながっていくのです。でも、つながることの暖かさを感じないと「つながりたい」とは思わない。活動を通じて、より多く手を差し伸べることで、一人でもその手の暖かさを感じて握り返してくれればいい、そんな気持ちで続けています。

ー その手を通してどう関わりたいのか、自分自身の問題として考えることが大切ですね。

清水 そうですね。子どもは親から人との関わり方を学びます。親自身が、子どもや地域とどう関わりたいのかをしっかりと考えないと、子どもとは向き合えません。人と関わることはパワーがいるけれど、とても大切なこと。子どもを持つことで、親も一緒に育つチャンスだと思って、前向きに考えて欲しいですね。

ー 最後に力強いメッセージをお願いします！

清水 何事にも共通して言えることですが、「つながりたい」と思う気持ちが“最初の1歩”。そして、とにかく情報を集めてください。その中から、自分で選んで思いきって飛び込んでみる。生涯学習のいいところは、「今しかない」のではなく、興味があるから今はこれ、その次はこれ、と終わりがないところ。何かに貪欲に関わっていくことで、すてきな出会いがどんどん広がっていきますよ！

【清水きよみさん（「マザーズルーム」子育て支援団体代表）】

コミュニケーションインストラクター、生涯学習インストラクター、アートファシリテーターなど、様々な分野で講師として活躍してみえます。子育てにおけるコミュニケーションの大切さなどについて、前向きに熱く取り組んでいらっしやいます。

一人で悩まず 話してください ～がん 心のケア ほっとライン～

「がん 心のケア ほっとライン」は、がん患者さん・ご家族・ケアする方々のための無料電話相談です。つらいことや苦しいことを思いのままに話すことで、胸がすーっとして心が落ち着きます。すると、迷っていたことにも自ずから良い考えが浮かんできます。ほっとして再び生きる勇気も湧いてくることでしょう。

お名前もご住所も伺いません。秘密は完全に守ります。どうかご遠慮なくお話しください。聴き手は、傾聴について学んだがん体験者と地方自治体の元電話相談員です。

がんも昔ほど怖い病気ではなくなりましたが、今でも多くの方ががんと診断されて頭の中が真っ白になったと言われます。まずは

気持ちを落ち着けて何が起きたのかを見つめる余裕をもちましょう。それから、主治医の先生に診断結果や可能な治療方法とその効果や副作用を詳しく聞いて、その中から自分に合った治療方法を選択します。がん情報センターや、各がん学会編集のガイドラインなどで病気についての正確な情報を得て、参考にしてください。主治医の他に専門家の意見を聞きたい時は、セカンドオピニオンを取りましょう。多様な治療法を選択するためには正確な知識は欠かせませんし、落ち着いて最良の選択をするには、心の安定が必要です。

無料電話相談「がん 心のケア ほっとライン」で、不安や怖れを和らげていただきたいと願っています。

がん患者さん・ご家族・ケアする人のための無料電話相談
「がん 心のケア ほっとライン」
TEL : 052-836-7565
毎週木曜・金曜 10:00～16:00（祝日休み）



「ネットワーク機関」とは生涯学習情報を「学びネットあいち」に提供して下さる生涯学習関連機関・団体で、随時募集しています。
詳しくは愛知県生涯学習推進センター（電話 052-961-5333）にお問合せいただくか、ホームページ(<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>)をご覧ください。

学びネットあいちからのお知らせ

愛知県生涯学習情報システム「学びネットあいち」では、いつでもどこでも、ご自分の都合にあわせて学習することができるよう、Web 用の学習教材「学習コンテンツ」を提供しています。現在約 250 のコンテンツがあり、県立大学の公開講座や指定無形民俗文化財などを、動画でみることができます。
人権教育に関する教材も掲載していますので、ぜひご覧ください！

★学習コンテンツガイド★

<http://www.manabi.pref.aichi.jp/general/gaido/gaido-p/top.htm>

とよたの人物記

西澤真蔵物語



「平成16年度全国自作視聴覚教材コンクール 郷土学習教材部門 優秀賞受賞作品」

△人権教育用教材

生涯学習 “ボラセン” だより



みなさんの学習活動を支援するため、様々な機会に得た知識・技能や経験を他の方々の学習に生かす活動を行う方や団体に呼びかけ、「生涯学習支援ボランティアバンク」を設置しています。ボランティアバンクに登録していただいている方と関連するグループ・団体を実際に訪問し、活動する様子をみなさまに紹介します！

“裏方”として地域活動を支援する！



「(特) 犬山市民活動支援センターの会 (通称：しみんていの会)」の事務局長としてセンターを管理・運営する山崎隆治さん。地域の活動を支える縁の下の力持ちです。愛知県教育委員会主催の生涯学習ボランティアコーディネーター養成講座にも、この講座の修了生として企画や運営に協力していただきました。

犬山市民活動支援センターは、伝統的な町家が建ち並ぶ風情ある一角にあります。地域の幅広い活動を支援し、また様々な情報の交換や人と人の交流等を促進する「拠点」です。

このセンターの管理や運営は、犬山市より委託を受けた「しみんていの会」が行っており、様々な事業を展開しています。特に「乳幼児の子育て支援」、「青少年の健全育成」、「地域の団体が活動しやすい環境づくり」に力を入れているそうです。

山崎さんはこれらのことが円滑に進むよう事務局を切り盛りしています。ただ、山崎さんは裏方に徹し、「事務局の人間は出来るだけ『表』に出ないようにしています。ボランティアが楽しく関われるように気を配ったり、様々な活動により多くの人に参加できる体制づくりを心がけています。」と日々気を付けていることを語ってくださいました。

センターを訪れた日は、しみんていの会主催の夏休み工房が開催されていました。テーマは「おりがみ折るぞ!」。会員の方が講師となり、



△取材当日は、折り紙教室が行われていました。

さらには会の登録団体のメンバーが託児のために待機し、参加者が心おきなく、折り紙を楽しめる環境が実際に整っていました。夏休みの宿題のために参加する子が多らしく、大勢の子が賑やかに「かぶとむし」等に挑戦していましたよ。

秋には、「“森と遊ぼう!”」というイベントが開催される予定です。森の中で遊んだり、ものづくりを体験したり、おやつ作りに挑戦したり、一日中森を満喫できるプログラムのようです。詳細を確認の上、ぜひ皆さんも参加してはいかがでしょうか。

★「しみんていの会」の活動は・・・
TEL:0568-61-7710
<http://www.inuyama-shimintei.com>

地域活動から“自分”を育てる！



日本福祉大学大学院で中川研究室に所属し、大学と市町村が連携して行う生涯学習活動に積極的に関わる中根綾さん。研究室での地域活動が、自分自身を大きく変えるきっかけになったそうです。今回ご紹介する活動の他にも、愛知県教育委員会主催事業に協力していただくなど、多岐にわたる活動をしてみえます。

7月下旬、2日間に渡り、大府市中央図書館で「図書館子どもまつり」が開催され、ボランティアグループによる朗読会や中学生による絵本クイズなど、様々なイベントが行われました。子どもたちの楽しそうな歓声が響き渡る中、工作教室のブースにおいて、目をキラキラさせた子どもたちに囲まれて、竹とんぼの作り方を熱心に教える、中根さんを見つけました。夢中になって、一人で3本も作った子もあり、とてもほほえましい雰囲気が広がっていました。

中根さんは日本福祉大学の研究室内の活動で、半田市、常滑市、大府市の教育委員会と連携して、生涯学習に関する意識調査及び分析活動や、地域の子どもの交流体験活動に取り組んでいます。その一環として、今回は、大府市中央図書館子どもまつりの企画及び運営に携わりました。中学生の実行委員をサポートしつつ、地域の行事に主体的に関わることで、中根さんは様々なことを感じたそうです。「今回は『イベントを主催する自分たちが楽しむ』ということに特に意識しましたね。そうすると、自分たちの思いが、地域の大人や子どもたちにも自然に伝わるんです。そして、楽



△図書館まつりでの様子

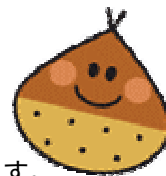
しい時間を共有することで、世代の壁とか距離が、どんどん縮まっていくんですね」

8月中旬に行われた反省会では、中学生も含めた各イベントの担当者から、問題点や感想などが報告されました。サポーターとして携わった地域の方からは、「中学生が小学生に絵本の面白さや工作の楽しさを教え、その中学生を大学生がサポートする。こうした異年齢交流は日常ではあまり機会がないので、とても良い取組だったと思う」とのコメントがありました。

中根さん自身、人との出会いを通じて、地域の中で自分が育っていることを、活動の都度、実感しているそうです。“地域だからこそ学べること”—この貴重な経験を、後輩に伝えていきたいとのことでした。

つぶやき ～ボラセン担当より～

サッカーの日本代表監督となったオシム氏は、再建の方策は日本人の特性を生かすこと、オシム流に言えば日本化することだと言っています。当たり前のことを人から押しつけられずに自分なりに当たり前にすることが、今求められているように思われます。そして、ボランティア活動も同様です。ボランティア活動に関心がありながら、何処で何をしたら良いかわからず、一歩を踏み出せないでいる人たちのために、ボランティアセンターが少しでもお手伝いできればと考えています。そのためにも、地域で活躍しているボランティア活動のリーダーやコーディネーターとの連携を深めていきたいと思ひます。



「生涯学習イベントの日」を開催します！

秋も深まる 11 月。愛知県生涯学習推進センターにて、「生涯学習イベントの日～秋色染まるウィークエンド～」を開催します！講演会やコンサートをはじめ、体験教室、ステージ発表など、芸術の秋を体感できるイベントです。入場は無料ですので、ご家族、お友達を誘ってお越しください！

入場無料！	日 時	11月4日(土) 10:00～17:00
	場 所	愛知県生涯学習推進センター（東大手庁舎2階）

講演会

演題 「大人のための日本語の授業」

時間： 午前10時～午前11時30分 定員：200名

名古屋大学大学院文学研究科長・文学部長で、「タモリのジャポニカログス」（フジTV系・毎週火曜日 23 時放送）に出演中の町田 健先生に講演をしていただきます。日本語には地域・世代間による方言が存在し、この違いは言語全体の変化につながると考えられます。どうしてこのような変化が生じるかなど、言語の本質についての話題と絡めながら、楽しく分かりやすくお話いただきます。



※ 事前申込が必要です。

ラウンジコンサート

～セントラル愛知交響楽団～



「"弦楽五重奏団+ソプラノ歌手"による競演」

時間 午後3時30分～午後5時

〔曲目〕 アイネ・クライネ・ナハトムジーク 第1楽章
日本の歌 他

※ 事前申込は必要ありません。

体験コーナー・ステージ発表

- ・体験コーナー（気功教室・ハーブ教室・押し花作り・ボディーペイント 他）
- ・ステージ発表（人形劇・コーラス・スクエアダンス 他）
- ・パソコン講座（カレンダー作成・表計算・文書作成 他）
- ・作品展示（絵画・アルミ缶アート・書・俳句 他）



★金魚 すくいもあります！！



問合せ・申し込みは・・・

愛知県生涯学習推進センター

電話：052-961-5333

FAX：052-961-0232

ホームページ：http://www.manabi.pref.aichi.jp/

～学校開放講座・地域開催講座が開催されています～

技術的・専門的な学習ができる講座が県内の各地で開催されています。講座の様子や、参加された方の声を紹介します！

<学校開放講座>



【ふれあい陶芸教室】

7月2日(日)～8月6日(日)

岩倉総合高校では、陶芸教室を行いました。参加者は20代から70代までと幅広く、20名の方々が楽しく参加されました。実習内容は、以下のとおりです。

- ① 電動ろくろによる湯飲み・茶碗作り
- ② 手捻りによるコーヒーカップ・一輪挿し造り
- ③ 絵付け実習(皿・湯飲み)

参加された方からは、「先生が丁寧に教えてくださったので、初めてで不安でしたが、楽しく参加できました」との声が聞かれました。出来上がった作品はどれも素晴らしく、満足と自信の笑顔がうかがえました。

<地域開催講座>



【おとなの心得経済学】

7月1日(土)・7月8日(土)

瀬戸市では、ファイナンシャルプランナーの山本節子先生をお迎えし、「おとなの心得経済学」というテーマで講義をしていただきました。参加された方の声を紹介します。

- ・ 今まで株式や経済の流れについてあまり考えることが無かったけれど、今回の受講で物に対する見方、考え方が変わっていきような気がします。
- ・ 今後の資産運用について勉強しようと思い受講しました。投資について日頃知りたと思っていたことを具体的に話していただき、とてもよい勉強になりました。

グラフィックデザイン(緑丘商業高等学校)、日本人のデザイン力(豊橋市)については、これから受付が開始されます。ぜひみなさんも参加して、より専門的な学習をしてみませんか？詳しくはこちらをご覧ください！

学校開放講座 <http://www.manabi.pref.aichi.jp/center/concours/gakkou.html>

地域開催講座 <http://www.manabi.pref.aichi.jp/center/concours/chiiki.html>

『かくしゃく人生』がはじまります！

10月1日(日)・8日(日)、「かくしゃく人生」を中京テレビで放送します！

放送時間 午前6:00～6:30

すてきな人生を送っている方を紹介します。

実りある毎日のために、新しい「生きがい」を見つけてみませんか？



◆ 1日の番組内容 ◆
『家族も応援 夢芝居』『夫婦で奏でるハーモニー』

◆ 8日の番組内容 ◆
『半島大好き いけいけ先生』『炭焼きの里の元気先生』



詳細はこちら→<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>



平成18年度

参加者募集

(入場無料・事前申込要)

ボランティア活動推進フォーラム【愛知県大会】

テーマ：「防犯ボランティア活動を促進するためには」

★ 記念講演 ★

堀尾正明氏 (NHK アナウンサー)
演題 「ご近所の底力から見る地域の教育力」



堀尾正明氏
(NHK アナウンサー)

★ 防犯活動を行う団体からの実践事例発表 ★

コメンテーター：渡邊 正樹 氏 (東京学芸大学教授)
アドバイザー：渡邊 彰 氏 (愛知県警察本部生活安全部
生活安全総務課地域安全対策室長)

＜発表団体＞

- | | |
|-------------------|-----------------|
| (1) 愛知子ども守り隊 | (中京大学の学生の皆さん) |
| (2) 稲沢レディースパトロール隊 | (稲沢市連合婦人会の皆さん) |
| (3) 吉浜こっこパトロール隊 | (高浜市吉浜小学校区の皆さん) |

★ アトラクション ★ 大治太鼓保存会による和太鼓演奏

- ＜開催日時＞ 平成18年10月23日(月) 午後0時45分～午後4時30分
＜開催場所＞ 名古屋港湾会館ホール(名古屋市港区) ※地下鉄「名古屋港駅」下車2番出口徒歩3分
＜定員＞ 500名(先着順)

※ 定員を超えた後にお申し込みいただき、参加できない方についてはご連絡さしあげます。連絡がない場合は参加できますので、お出かけください。

＜お申し込み方法＞ 申し込み期限：平成18年10月10日(火) 必着

◆ FAXで申し込む場合 ◆

開催チラシ裏面の「参加申込書」に必要事項を記入の上、052-961-0232へ

※ 開催チラシは、学びネットあいち (<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>) よりダウンロードできます。

◆ ハガキで申し込む場合 ◆

フォーラム参加希望と明記のうえ、「お申し込み代表者の方の氏名」、「連絡先電話番号」、「参加を希望する人数」をご記入いただき、県生涯学習推進センター(〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1 東大手庁舎2階)までお送りください。

＜お問合せは＞ 県教育委員会生涯学習推進センターグループ(電話 052-961-5333)

生涯学習情報誌「まなびあいち」は、生涯学習に取り組むみなさんと、愛知県生涯学習推進センターを結ぶ広報誌です。「こんなことを取り上げて欲しい!」「こんな情報がほしい!」「活動取材してほしい!」、どんなことでも結構です。ご意見等を下記までお寄せください。

〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号 愛知県生涯学習推進センター
ファクシミリ: 052-961-0232 mail: info@manabi.pref.aichi.lg.jp



生涯学習のマスコット
“マナビ”